

簿記検定試験合格への5カ条

日本商工会議所

過去10年間（平成16～25年度）の簿記検定1級最優秀合格者のコメント（受験者へのアドバイス）から、合格への5カ条をまとめました。

第1条 毎日継続して学習すること

- ・ 短期間に詰め込むのではなくテキストを少し読むだけでもよいので、毎日何らかの形で簿記と関わるように心がける。
- ・ 継続は力なり。

第2条 基礎を固めること

- ・ 基本的な内容を確実にできることが最も大事なこと。基礎をしっかりと固めていれば応用問題が出ても自ずと解法が見えてくる。
- ・ 試験問題は基礎的な知識で解けるものが必ず含まれているので、まずはそうした問題を解くことで、落ち着いて応用問題にも取り掛かることができる。

第3条 暗記ではなく理解すること

- ・ やみくもに暗記するのではなく、常に「なぜそのような仕訳をするのか」などの手続きの理由や意味を理解していくことで、効率的に実力をつけることができる。
- ・ 問題演習の誤答を単に見直ただけで終わらせず、間違えた理由を考えることが重要。

第4条 まんべんなく学習すること

- ・ 試験は、難しい応用問題より基礎的な知識を問う比重が大きい。試験範囲の基本的な部分を網羅的に学習することが合格への近道。
- ・ 自分で内容をまとめたレジュメを作成すると、どこを学習したかが分かりやすく、やり残しが少なくなる。復習もより効率的にできる。

第5条 諦めないこと

- ・ 空白なら0点だが、何か書けば得点になる可能性がある。難問だからといって諦めてはもったいない。
- ・ 試験時間は限られているが、あせらず、できるところから丁寧に解いていくこと。